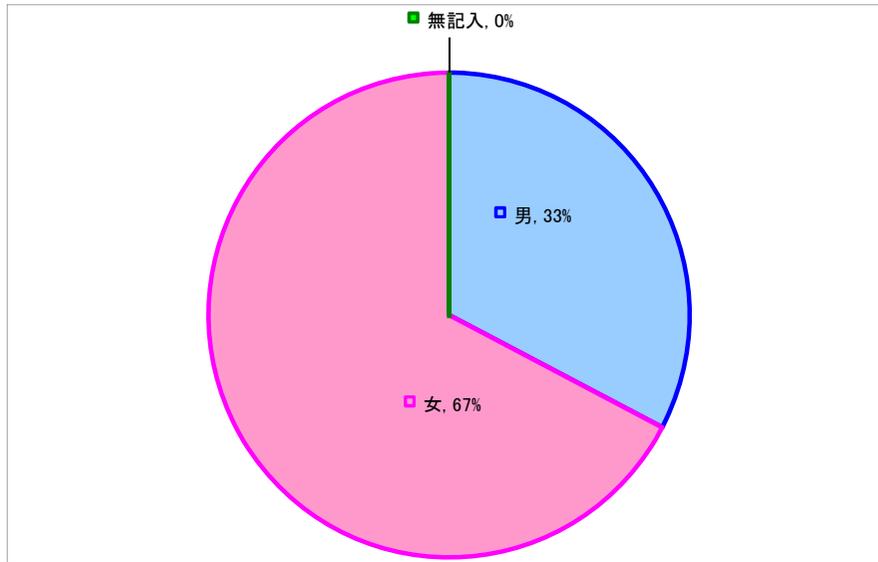


# 市民フォーラム 第7回認知症サミット鳥取in米子2017 アンケート結果

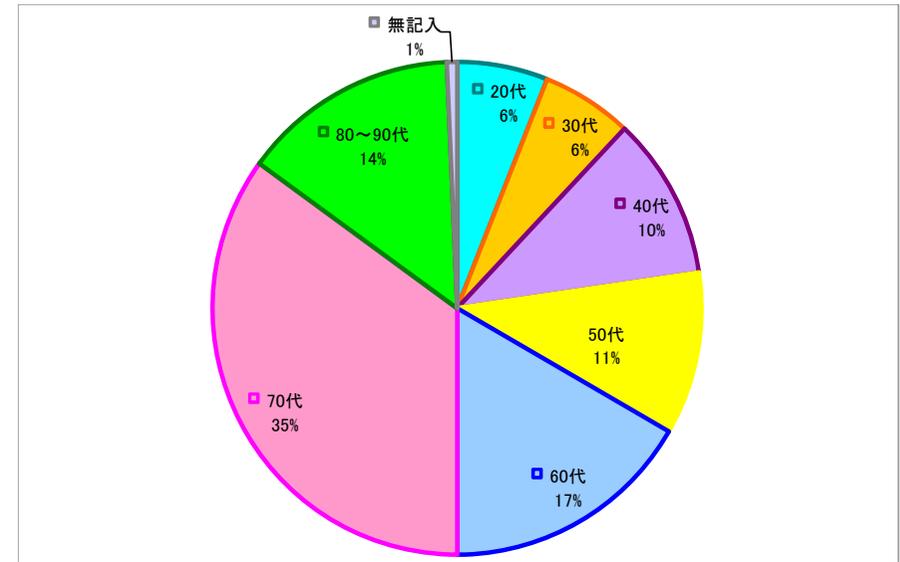
## ■あなたの性別は？

・男性 ・女性



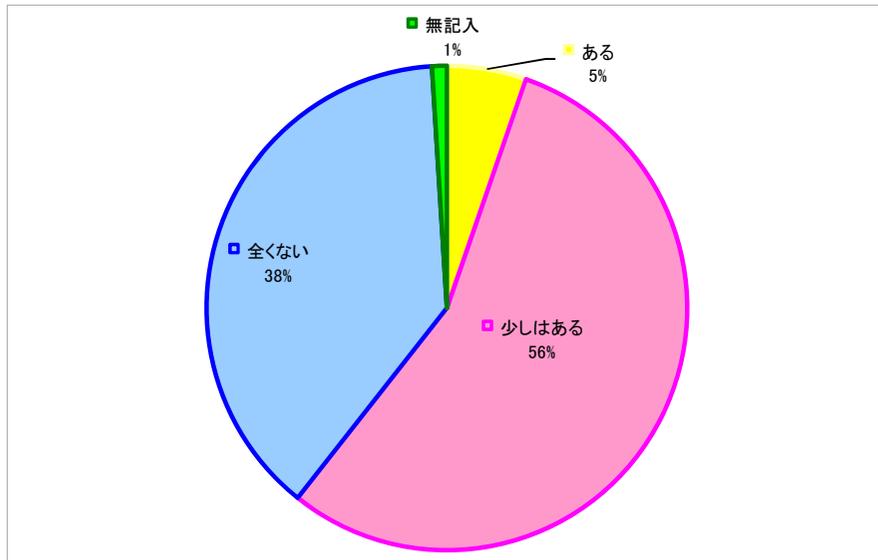
## ■あなたの年齢は？

・10-20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代 ・80代-90代



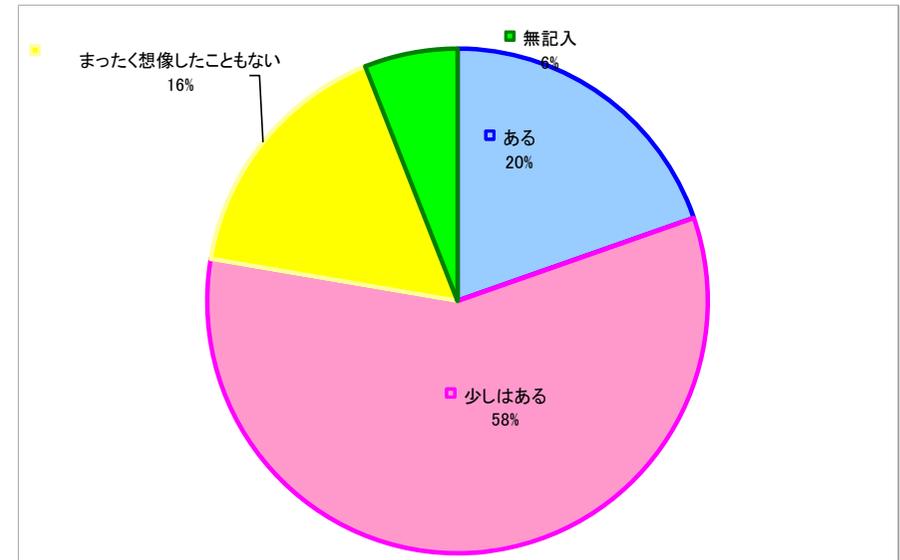
## ■現在、実際に自分が物忘れなどの認知症症状がはじまっていると思うことはありますか？

・ある ・少しはある ・全くない



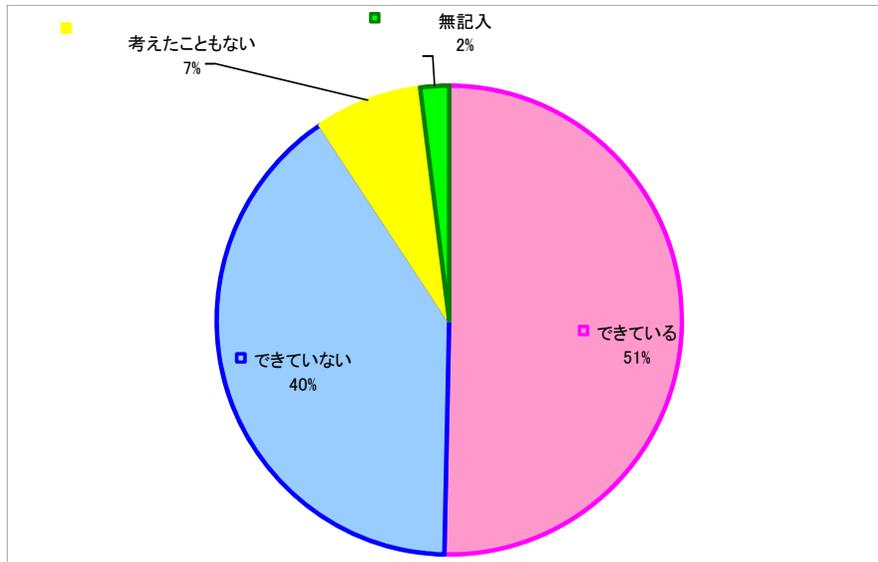
## ■自分が認知症になるという状況を、認知症になってからの人生を考えたことはありますか？

・ある ・少しは考えたことがある ・まったく想像したこともない



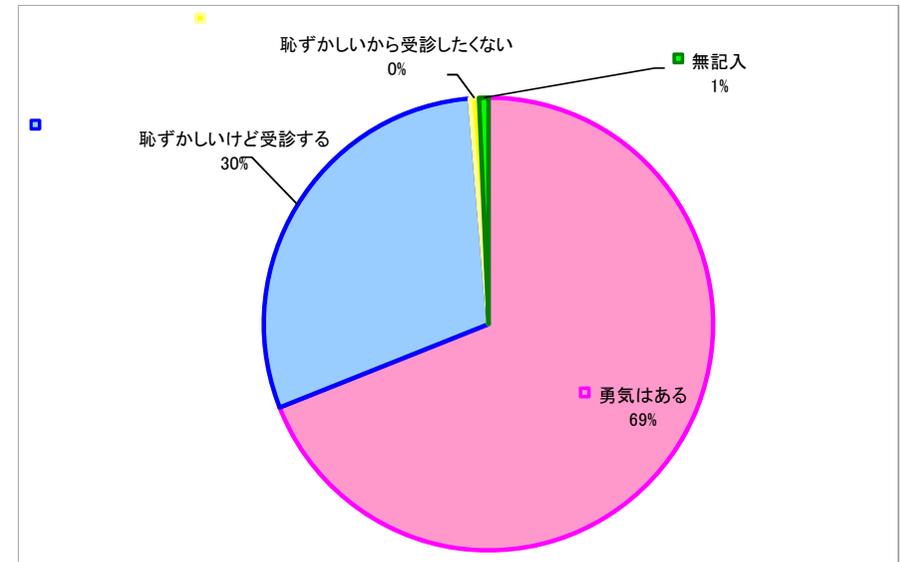
■家族(親あるいは配偶者)が認知症になったときにそれを(精神的)に受け入れる心の準備はありますか？

・心の準備はできている ・出来ていない ・考えたこともない



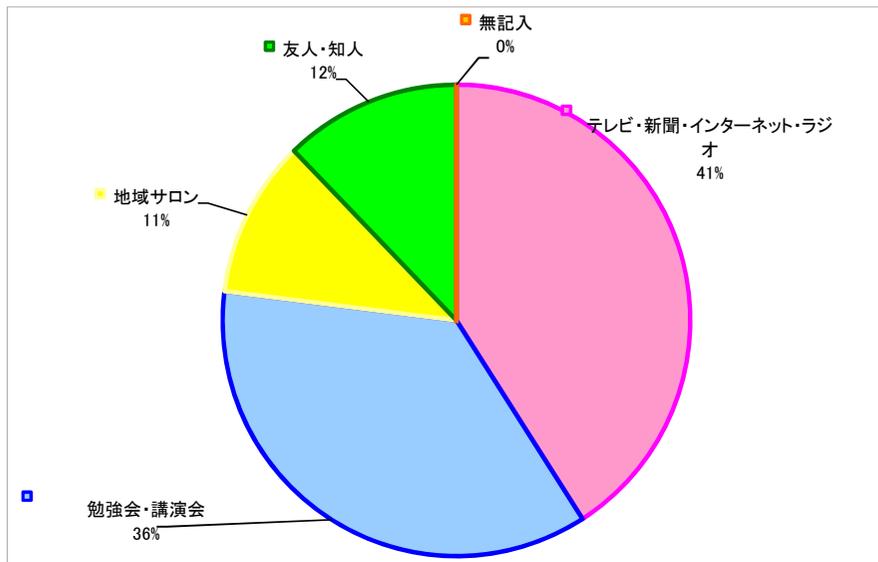
■家族あるいは自分自身が物忘れ、徘徊がみられたら早期に受診をする勇氣はありますか？

・勇氣はある ・恥ずかしいけど受診する ・恥ずかしいので受診したくない



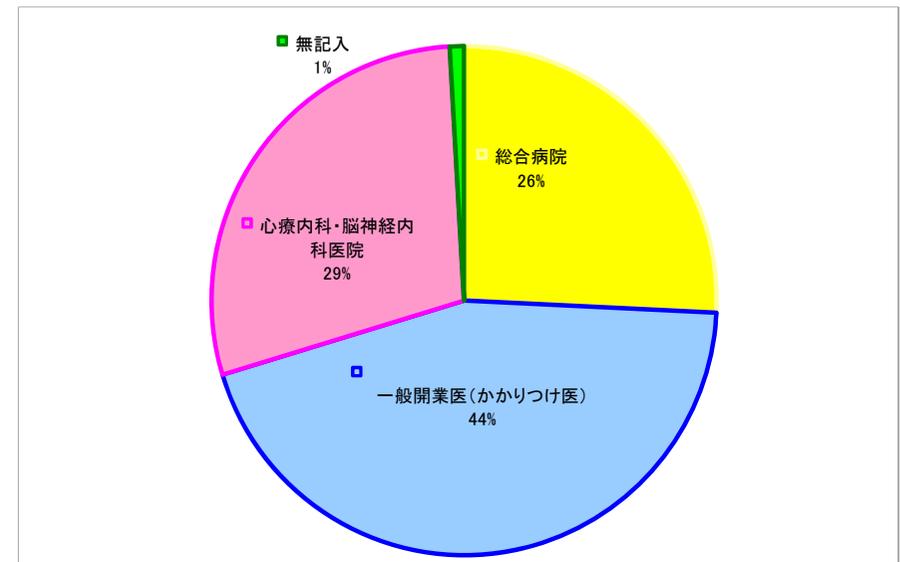
■認知症に関する知識は主に何処から入ってきますか？

・テレビ/新聞/インターネット/ラジオ ・勉強会/講演会 ・地域サロン ・友人/知人



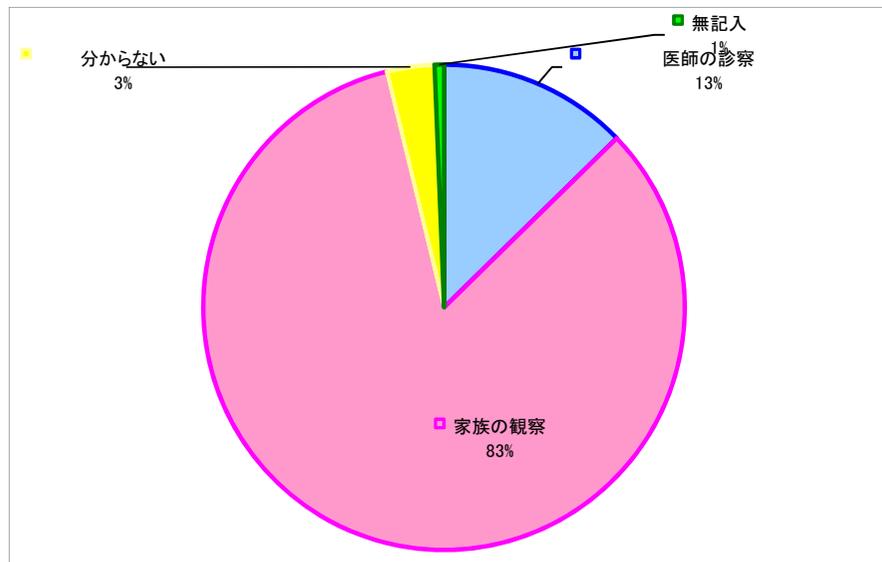
■認知症の疑い、心配があるときにどの医療機関を受診しますか？

・総合病院 ・一般開業医(かかりつけ医) ・心療内科/脳神経内科医院



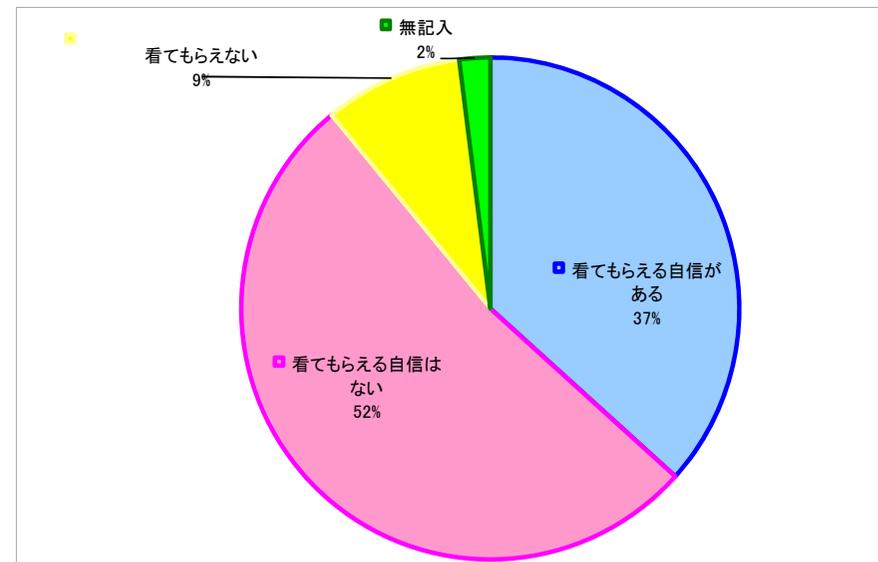
■認知症の早期発見に一番大切なことはなんだと思いますか？

- ・医師の診察
- ・家族の観察
- ・分からない



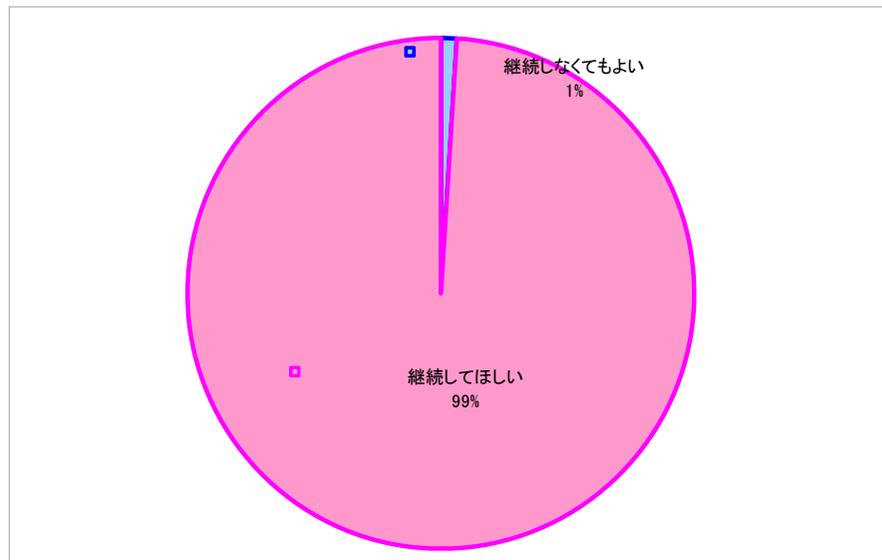
■自分が認知症になったときにあなたの配偶者、家族に看てもらえるという家族の絆、人間関係はありますか？

- ・看てもらえる自信がある
- ・看てもらえる自信はない
- ・看てもらえない



■来年もこのような認知症に関する会を継続したほうがよいと思いますか？

- ・継続してほしい
- ・継続しなくてもよい



# 認知症サミットアンケート集計

サミットの意見・感想

認知症について 長生きの宿命と聞いてほっとしました。ありがとうございました。
どのシンポジストも参考になりました。自分自身で予防しなくてはいけないと思いました。
具体例がいくつかあると分かりやすいと思う。
知らないことを知る機会に出来てよかったと思う。(認知症保険など)
すばらしい講演でした。またよろしく願い致します。
いろいろと勉強でき参加して良かったです。ただし、シンポジウムで「遺産相続」などは頭が混乱し困りました。後で資料をじっくり読みます。佐平氏の話は高齢者にとってはとても助かりました。介護する側と心配のある本人と同じ講習を受けるのはちょっと無理かもしれません。
母が認知症で介護しております。とてもよい取り組みだと思います。大変ですが今後ともこの会を続けてください。
多種分野から講義を聴くことが出来てよかった。学んでも学んでも前が見えない対応。これからも学びます。
今回は実際に役立つ具体的な内容でとても参考になりました。今後もこのようなフォーラムを何回も開催してください。
認知症の医療知識だけでなく、警察の免許のこと遺言のこと保険のこと多方面にわたり知識が受けられた。有意義でした。
認知症と遺言、保険についてテーマとした新しい試みに大変関心を持って聞くことが出来ました。
実践的な話でとてもよかった。生きる為に必要なことを学んだ。
佐平様 分かりやすくとても良かったです。ぬくもりを感じました。奥谷様 画面の文字画が大きい字を希望します。
例年のサミットと違ってとても勉強になりました。お金は大切です。小田先生の進行がとても良かったです。
身近でこのような勉強会があり感謝しています。数年前に認知症サポーター講習を受けました。サポーターをする自信はないのですがそのときが大変有意義だったことを思い機会がある毎に勉強会に参加したいと今考えています。
今回の講演会に参加し、真誠会の取り組みで「オレンジカフェ」があることを知りました。自分の身の回りや知人にお困りの方がいれば紹介や提案をし、地域社会に貢献していきたいと思いました。認知症が他人事ではないという観念を持ち、対処していけるような知識や心持を考えさせられる講演でした。
今回は5名のパネラーが発表ですが、テーマがかなり違うのでシンポジウムとしては分散化して焦点がぼやけた感じを受けました。例えば「認知症に対する家族の対応について」のように焦点を絞り討論を深めたほうがシンポジウムとしては深まるのではないかと感じました。
正直なところ県東部(鳥取市より来ました)よりここ米子市のほうがはるかに認知症への問題意識のあり方が進んでいると痛感しました。来た甲斐がありました。
山崎様の話がもう少し聞きたかったのですがまたの機会にします。
諸先生の声が小さくて聞こえにくかった。大きな声ではっきりと話してほしい。
超音波骨密度測定して頂きました。良かったです。
室温が低く寒かったです。
財産管理について関心があったのですが、内容が難しく、後で資料を見直します。
今年は前列で小さい字が見えてよかった。それぞれの分野での話があり、手続きのこと等の話が聞けたこと。長寿社会課、免許センター、相続の件。
認知症を自分ごととして考えるよい機会となりました。あらゆる面で相談できる窓口があることを知ることも大切だと感じました。
介護の仕事をしていてもいまだに知らないことを今日勉強することが出来ました。介護業界以外での認知症に関する制度、取り組みを知ることが出来てよかったと思います。

現在は娘と2人暮らし。認知症に限らず1人で自活できなくなれば施設と思っているが満員では入れない時にどうしようかと悩んでいます。

今は大丈夫だろうと思ってもいつ認知症になるのか不安心配は日々増すばかりです。

認知症については軽い時より早めに治療すればある程度よくなるのではないかと、普段からやればある程度防げらると思う。

かかりつけのお医者様自身が認知症に関してどのくらい知識を持っているのか不安心配があります。受け入れ態勢とか不安にかんじる場合があります。市・地域での予防対策にこれからも力を入れてほしい。個人的にも関心を持っておせっかいをしていきたい。

1人暮らし後期高齢者にはとても不安があります。仲間がほしいと思います。

認知症にならないよう積極的に話を聞いたり、友達と旅行や会食・習い事に励んでいる。

認知症になってもならなくても笑って暮らす為に日々学習していく必要性を感じます。自分のことなので家族ではなく本人の問題です。地域・皆で暖かく見守ることだと思います。

1人暮らしのため体調不良時(緊急)救急車等への連絡が出来るか心配。在宅は難しいですかね。

認知症になる直前だと思っている。比較的良好のときに、様々な問題点を知っておくことが大切だと思います。

現在独居老人のため、少なからず健康維持に努めておりあわせて精神的にもタフであるよう、ボランティア等に出かけ多くの人と接触するよう心がけている。

誰も認知症になった時、子供は遠方であてにならない不安はあります。

認知症以外にも糖尿病、その他の病気で通院している(主人が)暴力も1年位前よりあり。日々ストレス生活継続中。

若い人はストーカーといわれるが、高齢者の場合それが認知症の前段階であるのではないかとすることがあるが、どうでしょうか。

身の回りにいます。みんな肯定してうまく付き合っています。

看てもらえるが、迷惑をかけたくないの、寿命を選べるような薬等の選択があればいいです。

自身が認知症にならないという保障は無いですが、毎日人と関わる事、楽をしすぎないこと、上手に気分転換することなど気をつけて、明るく楽しくいささかのストレスを与えながら暮らして生きます。

早期受診、早期絶望となりませんように。

毎回出席しています。高齢者住宅に入居中、毎日認知症にならないよう生活しているつもりです。元気なためデイサービス・介護サービスもうけることは出来ません。

認知症の実際及び対応については色々な会議で説明されてるが介護保険利用の実際、あるいは入所施設の利用料金等がよく理解できていない。介護施設の種類が多くてどの施設が利用できるかが一番知りたいところではないでしょうか。

93歳の義母と同居していますが、8月に体調を崩してから気力体力の低下が目立ち、物忘れも増え、義母自身が自分はダメになったと落ち込むことが多くなりました。今日学んだことを参考に義母の日常生活が少しでも改善されるよう努力したいと思いました。

認知症予防が大切だと思うのですが、それに向けての活動が色々ありますが、その活動を支える人材やお金が不足していると思うので、そのところも公的支援の助けがいますと考えると。そして支援を行うときに個人情報保護法の壁を感じる事があります。

認知症の方に対する対応方法等は良く分かりました。実際には、本人主体の介護は出来にくいです。介護者も自身の病気があり自分自身の介護時の不安が増えています。果たして、現在の制度が継続されるのか不安です。実感として、長生きせずに早く死にたいのが本音です。

母が糖尿病10年 アルツハイマー2〜3年を91歳で、大変ではなかったけど精神科に私(69歳)が今年で14年通院しています。

1人暮らしのため、自分が認知症とはなかなか受け入れられず、受診をためらっている場合、地域の方(民生委員など)肩をたたいてくださる方がおられると心強い。そういう地域の在り方を切に望みます。

自分が認知症になったときの事を考えるととても怖い。家族の場合は余計怖いと思うが主人はすぐ病院、施設に入るといっているが受け入れてくれるところがあるか心配です。

認知症の予防に平日頃心の持ち方、行動等気をつけたいことを知りたいです。今は楽しいこと等は、友達と積極的に出かけるようにしています。真誠会の支え愛センター等にもっと友達を連れてどんどん利用させていただきたいと思いました。

早期治療、早期発見、大切ですが独居老人の場合どうすれば。地域の力が大切になってくるがその環境に無い老人には無理。

認知症は30年前から始まっているということで、若い頃から取り組める予防があればそれを全国的に広めることが重要と考えます。その予防が日常生活で取り入れることが出来る生活習慣であればなおいいのではと思いました。

要 望	予防法が知りたいです。現在安定剤を飲んでますが大丈夫なのか、認知症薬と安定剤の服用などの薬についてもっと知りたい。
	認知症講座は自治会や老人会がありますが、このような本格的な講座はありません。もっと自治会等の回覧で知らせてほしい。
	真誠会「支え愛センター」で高齢者対象のスマホ・PC等操作の講習等していただけると大変ありがたいです。業者でやるところもあるがついていけない。
	シンポジウムの中で家族への対応を紹介していましたがなかなか難しいと思う。市民向けのシンポジウムなので、もう少し介護をしている家族の方に焦点を当ててお話をするほうがよかった。実際に介護をしている家族の方の話も聞いてみたいです。
	身近なところ(地域内)でこのような行事を行ってもらえないでしょうか。主催者が個別に短時間で取り上げていただくと利用できる。市役所・裁判所・生命保険など。
	社会について「改革」の観点が必要だと思う。地域社会、向こう三軒両隣の共助が切に望まれます。
	具体的な例、経験値によるお話ありがたく拝聴しました。次の点にご留意願います。聴き手は老人がほとんどです。①早口の説明をゆっくりと②小さな文字は目がかすんで見えない
	成年後見人制度を公的にやってもらいたい。弁護士、司法書士他で不正があったことを見聞きしている。この場合の保証は無いと思う。
介護等相談コーナーのブースを別室に配置してもらえば相談しやすい。	
そ の 他	日本認知症予防学会監修 認知症予防専門士テキストブック 徳間書店を探している
	各自治体からの認識を高めていかなければ、個々の参加は困難ではないかと思います。市内でも和田地区の考えはとてもいいことだと思いました。